

# 兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 22 号)

平成29年4月13日発行  
兵庫のり研究所

窒素は、一部調査地点を除き二見漁場で1  $\mu\text{g at/L}$ 台となっており、それ以外においては概ね2~3  $\mu\text{g at/L}$ 台の値でした。珪藻は前回(4/7)調査同様、全域においてほとんど確認されませんでした。

(水温) 漁場内平均11.6℃。(塩分) 平均31.66psu。前回(31.81psu)調査より約0.15psu低い。

(栄養塩、珪藻) 4/6~4/11にかけて降雨があった(気象庁アメダスより雨量合計 明石: 31.5mm)。高砂漁場やその沖の上①地点では陸水の影響が及んでおり、塩分濃度がやや低く栄養塩の上昇が認められた。上げ潮時ということもあり、江井ヶ島周辺まで大阪湾から流入する海水の影響が見られ、魚住以東の海域で窒素は概ね2~3  $\mu\text{g at/L}$ 台と前回調査より少し高い値を示した。大阪湾奥部では依然スケルトネマを主体とした小型珪藻が発生していると考えられるが、明石海峡部周辺海域の栄養塩(窒素・リンとも)に大きな増減は認められない状況。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.5	11.6	12.0	12.6
窒素	2.1	3.1	3.1	3.6
リン	0.27	0.31	0.26	0.29

(4/7)

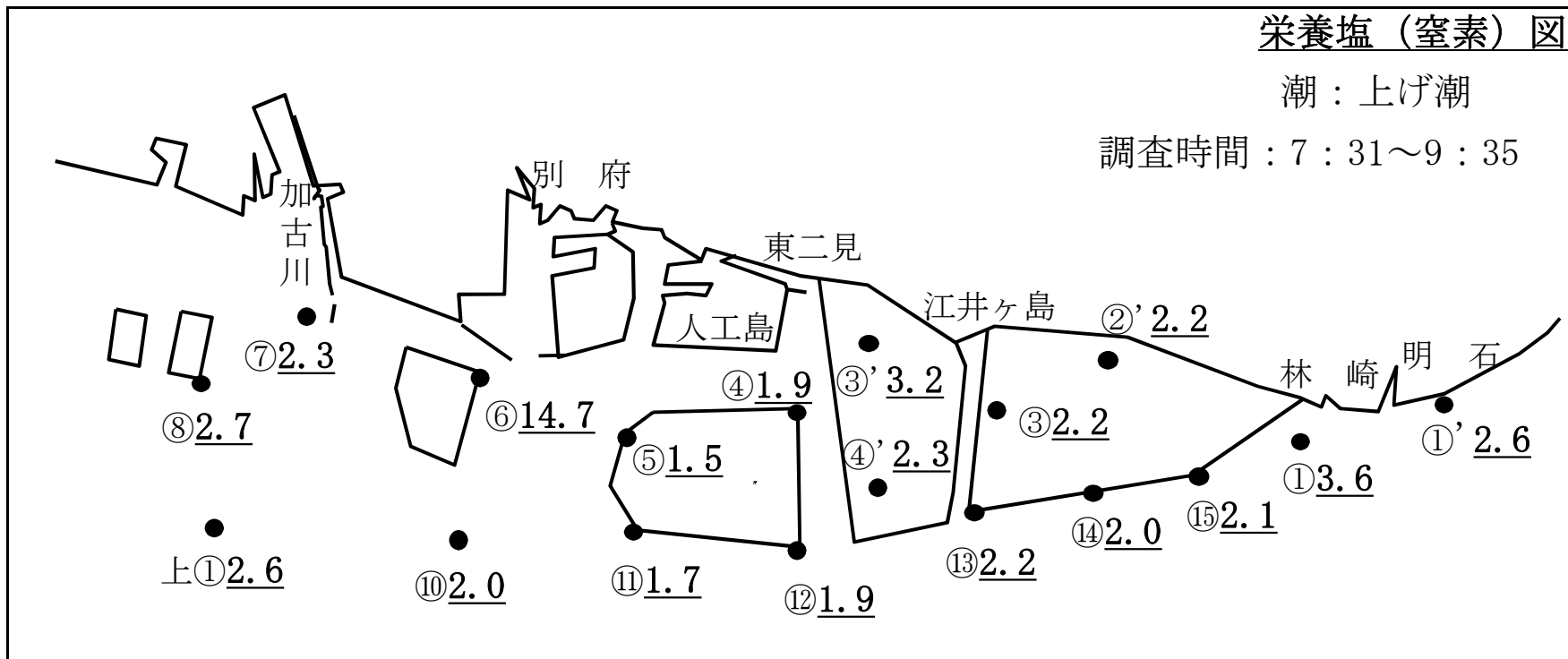
(4/15)

平成29年4月13日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮: 上げ潮

調査時間: 7:31~9:35



## 水温図

